

# 酒蔵のある寺内町・摂津富田郷散策

令和7年2月8日(土)

水先案内人: 牧 彰(会員)

池田、伊丹と並び「北摂三銘酒」の一つに数えられ、地酒の名産地として知られる。古くから寺内町として栄えた富田では、江戸初期から阿武山山系から流れる清水と、地元で育まれた良質の酒米、丹後・丹波からの農閑期の労働力などの好条件の下に酒造りが盛んに行われ、その品質の高い銘酒の名声は、遠く江戸にまで聞こえていたといわれる。最盛期の明暦年間(1655～1658)には、24軒もの造り酒屋が軒を連ね、8000石余りを醸造していた。

現在は、「清鶴酒造」と「春酒造」の2軒の造り酒屋が残るばかりだが、伝統ある地酒の風味は脈々と確実に受け継がれている。富田の町を歩けば、新酒の完成を記す杉玉を吊るした町家や趣ある酒蔵が親られ、往時の風情を感じながらの散策を楽しむことができる。

「高槻市観光協会パンフレット」より



普門寺方丈



清鶴酒造

## ■普門寺

国の名勝庭園や重文指定の方丈(本堂)など、数多貴重な文化財を残す禅宗の名刹。14世紀末の創建と伝える。一時は、室町幕府管領・細川晴元や14代将軍・足利義栄も滞在し、普門寺城とも呼ばれた。

## ■慶瑞寺

持統天皇8年(694)に僧道昭が創建と伝える黄檗宗・萬福寺の末寺。境内には、後水尾法皇の苗や仏舎利を納めた聖苗塔がある。

## ■教行寺

寺内町起源の浄土真宗寺院。蓮如が布教活動の拠点とした富田道場による。後に親鸞『教行信証』を写経したことから、教行寺と呼ばれる。

## ■清鶴酒造

甘・酸・苦・渋・辛の五味調和。五感を駆使して醸し出す酒……。江戸でも知られる存在であった大富豪・紅屋の伝統と志を継ぐ造り酒屋。

◇参集地: 阪急「総持寺」駅 13:00 昼食は済ませてお越しく下さい。飛び入り参加大歓迎。

雨天決行 歩行距離約4km

◇順路: 阪急「総持寺」駅～慶瑞寺～大宅壮一顕彰碑～普門寺(13:45～14:30)～三輪神社～教行寺～清鶴酒造(14:45～16:30)～本照寺～清蓮寺～阪急「富田」駅・JR「摂津富田」駅(17:00時頃解散)

◇拝観料: <普門寺> 500円

◇蔵開き: <清鶴酒造> 約2,000円(見学・試飲・お土産など)

◇二次会: <幸蔵本店 約5000円> 17:10より凡そ2時間 ☎050-5869-9512  
テレビ大阪「おとな旅 あるき旅」の海鮮居酒屋(茨木中央市場より直送)

◇定員: 12名程度 11月25日(月)締切り

◇申込先: 「街ing いばらき」代表・阪田 浩(080-1436-9881)

Tel&Fax/072-627-3480 E-mail: [ibarakisakata@crux.ocn.ne.jp](mailto:ibarakisakata@crux.ocn.ne.jp)

※本会行事は、自由参加です。不測の事故・傷害などは、自己責任でご対応ください。